



都筑青指だより

第 32 号

都筑区青少年指導員
建 裕 誠 会
都筑区茅ヶ崎中央322-1
都筑区役所地域振興課内
045-948-3326

平成21年度 横浜市青少年指導員大会

洗沢地区 清水良枝

3月7日(日)開内大ホールにおいて横浜市青少年指導員大会が開催され、市長の挨拶、来賓の方々の祝辞などいただきました。

永年勤続顕彰で都筑区からは20年の村田会長、15年の志田さん、山田さん、10年の7名が顕彰されました。

続いて元プロボクサーの坂本博之氏が、「僕は運命を信じない」というテーマでボクサーを志すまでの体験を中心に講演されました。「一生懸命やってきた道のりが大事。諂めずに前に進む姿を見て欲しい。熱を持って扱すれば熱を持って返ってくる。」という人と人の関わり合い方について

て力を込めて話してくださいました。このメッセージは私たち青少年指導員の今後の活動に大いに役立つ事でしょう。現役引退後「こころの青空基金」を主宰され、児童養護施設にいる子どもたちへの支援活動を精力的に行っているそうです。

当日は冷たい雨が降り、
続く寒い日でしたが、私
の心の中は暖かさでいっぱいになりました。



全市一斉統一行動について

勝田・茅ヶ崎地区においても、7月17日(土)に全市一齊統一行動が行われました。この統一行動は、地域における青少年の健全育成に影響を与えていた社会環境の実態を把握することに併せて、青少年を有害な環境から守る街づくりを進めるとともに、われわれ青少年指導員の活動を広く市民にアピールすることを目的として、毎年7月に行われています。7月は内閣府が定める「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」もあるからです。

その主要な内容は、①ゲームセンターとカラオケボックスを対象とした「社会環境実態調査」と、②コンビニエンスストアやビデオレンタルショップを対象とした「有害図書類の区分陣列調査」です。当日地区の青少年指導員が集合してパトロール活動を開始しました。

カラオケボックスの調査は、各個室も対象としていますが、今後は店の営業や利用者のプライバシー等も考慮するなどの工夫が必要と感じます。ビデオレンタルショップの調査では、タイトルや商品パッケージ等から見る限り、内容的にも年々

勝田・茅ヶ崎地区 加藤誠治

過激になっているように感じます。特に児童の権利保護の点からは、商品に対する内容的な規制も必要ではないかと感じます。

いろいろ感じるところもありますが、当地区においては、法令を順守した営業活動が行われており、青少年を有害な環境から守る街であることも確認できました。今回調査・収集した情報は、県や市が青少年行政を進めるうえでの基本的データとなり、地域の青少年を取り巻く社会環境健全化推進の取り組みに資することになります。青少年指導員による統一行動は、行政と市民による地域の青少年の健全育成を実現する具体的行動でもありますので、今後とも地道に続けていくことが大切です。



竹細工教室の準備から本番まで

北山田小学校コミュニティハウス主催で夏休み開始早々の7月21日(水)に竹細工教室を行ないました。今年で4回目となり、参加は小学生低学年で申し込み31名の内28名がきてくれました。

準備の竹の採取は国際プール周辺の緑地から公園愛護会の協力で切り出します。恒例の箸作りはそのままで、箸ができたら前回までは生徒の希望を聞きいろいろなものを作っていましたが、平日の開催なので青少年指導員が集まらず、この教室を始められた吉田さん、山田地区、尾田会長と私の3名なのです。もちろんコミュニティハウスの館長以下スタッフ総員の協力を得てですが、今回は箸ともう一品の竹とんぼ作りとします。

午後1時、開始30分前なのに生徒が集まってきたので大至急準備をしました。いよいよスタートです。いつも通り箸の材料を専用の道具で割るところから見てもらいます。竹の性質を知ってほしいのです！ 割った材料は元、先とも同じ太さです。これを削って箸先を細くします。作り始めてすぐコミュニティスタッフからカッターの使い方がこわいので使い方をまず教えてほしい！

低学年なので、よく見るとカッターを使ったことがなさそうな感じです。刃を出す長さから持ち方、方向、

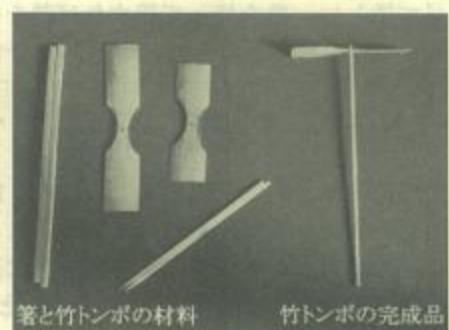
角度、力かけんなどを教えましたが、実際に使ってみないとわからない面もあります。むずかしい！

予定の1時間で箸は完成させたいが大変です。20分遅れで全員の出来具合を見終わりました。超細いものや、ずんぐりしたものなどいろいろありますが、本人はうれしそうでした。

竹トンボ作りを30分遅れで始めました。紙ヤスリで表面をみがいて四隅を丸くして、生徒の作業は終わり、スタッフが仕上がりを見ながらろうそくであぶって羽を曲げます。羽の曲げ方で利き腕の右、左仕様になります。

塾があるからと帰りたい子が出てきました。竹とんぼは羽の左右、羽と心棒の両方のバランスが取れれば飛ぶはずです。この作業は家に持ち帰ってお父さん、お母さんにお願いすることとして、あわてて終了としました。

カッターの使い方から始まった竹細工教室でしたが、ごく小さいケガが1名だけで終わりました。



青少年育成を進める県民大会

かちだ地区 齋川正典

7月10日(土)本厚木で行われた、青少年育成を進める県民大会に参加しました。

今回は「青少年と大人が共に担う地域の活動」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

具体的なテーマとして三つありました。

- ①子供は赤ちゃんの頃から親に影響されるので親を教育する。
- ②学校が中心となり、コンビニや商店などが連携して青少年にタバコを売らない、また深夜出歩いてる学生に注意する活動を行う。
- ③イベントなどで、子どもと

共に大人も一緒に楽しみながら成長する事などを通して、より良い町づくりに繋げてゆく。

以上のテーマについてパネリストの方々によるお話をあり、私たちもできることから始めていきたいと思いました。



じゃがいも掘り&葉っぱかるた

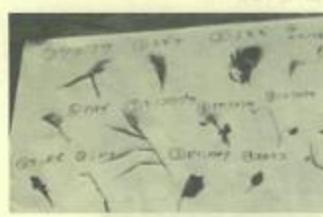
都田地区 長岡智和

7月19日(海の日)午前10時、「JA横浜きた総合センター」において、気温30度を越える炎天下、子どもと役員を含め総勢140名が、恒例の「じゃがいも掘り」に、そしてレクリエーションの「葉っぱかるた」やお昼にカレーライスを食べました。

種じゃがいもを3月に根付し、5月に芽掻き、6・7月に草刈り、前日にはカレーの下ごしらえをして、当日を迎えました。今年もじゃがいもは上出来です。

6列分を交互に、子どもも大人もみんな元気に楽しく掘り出しました。

「大きーいっ!」「すごーい、たくさんあるね」「ここにもあるよ!」と、大騒ぎです。



「葉っぱかるた」は、サンプルの草花を現地周辺で採取し、模造紙に貼り、名称を書き、壁に貼り出します。参加者をグループに分け、模造紙、テープ、マジックを渡します。「スタート!」の掛け声で一斉に同種の草花を探しに行かせ、サンプルと見比べながら模造紙へ貼り、名称を書き、時間内にどれだけ集められるかを競います。わざと1種類だけ近くに無い草花を貼り出して、直ぐに完成出来ない仕掛けも。チームワークを学ぶ競技でもあります。

優勝チームは、22種類中15種類を集めました。

さあ、お昼です。掘ったじゃがいもで「カレーライス」を食べます。ルーは直径約50センチの大鍋2つ、白米は40キロを業者より手配。盛り付けは子ども会役員の方々にお手伝いいただき、みんなにぎやかにおいしく食べました。

休む間もなく、帰りの準備。お土産のじゃがいもは一人3キロを袋詰め、待っている間には子どもたち全員に「竹とんぼ」のプレゼント。小さな子から大きな子まで、よいしょ、よいしょと、重たそうに持つて帰りました。



開催者として、満面の笑みで大喜びをしている姿をみると、長い準備期間を経た苦労も報われる思いがいたしました。

お父さん・お母さん、そして役員の皆様方、大変にありがとうございました。

夏休み体験教室

7月18日(日)都田小学校の体育館とグランドにおいて、地元の子どもたちとの交流を図るため、池辺地区夏休み体験教室(木工工作及びそうめん流し)が行われました。

当日は、朝から気温が上がり暑い中、午前10時に体育館で木工工作から始まりました。

テーマは「ゆかいな森の仲間たち」と言うことで、事前に木材の調達をしますが、切り出しは大変危険な作業なので、経験のある私が担当しました。大・中・小に切った丸木をボンドで貼り付けて行きます。子どもたちは見本を参考に作ったり、アレンジを加えクマ、タヌキ、リス等を楽しみながら作っていました。

グランドでは工作の間に、青少年指導員と体育指導委員が共同でそうめん流しの準備です。一週間前から切り出して準

池辺地区 伊藤守

備していた竹を三段につなぎ、約18mの長さの物を4レーン組み上げ水流しテストも終え万全です。

午前11時50分、さあメインイベントそうめん流しの開始です。友達とはしゃぎながら、流れてくるそうめんを取り合ったり、なかなか取れずに苦労しながらも、皆んなお腹いっぱい食べて満足し、本当に楽しそうでした。

そうめんの他に、飴等も流し大好評でした。子どもたちも我々スタッフも楽しい一日になりました。



夕涼みのつどい

7月18日(日)恒例となった夕涼みのつどいが行われ、私たち新栄早渕地区の青少年指導員もスタッフとして参加しました。

毎年のことながら雨が心配される季節なので、予備日も確保してありましたが梅雨明けが発表されてからは、快晴・快晴・快晴。当日も、もちろん快晴で猛暑でした。

開場時点では、まだまだ陽が高くお客様の出足が少なかったのですが、陽が傾くにつれて大盛況になり、かき氷模擬店は大人気、打ち上げ花火でフィナーレとなりました。

青少年から年配の方まで、地域の人の輪を作っていく、良いイベントになったと思います。

今回も、ゲームの司会と進行補助を、地域の中

新栄早渕地区 鈴木 隆暢

学生がスタッフとして担当してくれました。

実は、開場前に集合したときには頼りない印象があったのですが、始めてみれば、たくさんの人の前で声を張り上げたり、熱心に裏方を務めたりと、立派に仕事をこなしてくれました。

来場いただいたみなさん、中学生ボランティアをはじめ運営に携わったみなさん、お疲れ様、どうもありがとうございました。



イベントの裏側で、青少年指導員がしていることを紹介します。

6月20日午後7時：体育指導委員、子ども会役員とともに、打ち合わせ

7月11日午前6時：町内会のみなさんとともに、会場の事前整備（草刈り）

当日午前8時：町内会のみなさんとともに、テント設営、白線引き

当日午後3時：子ども会のみなさん、中学生ボランティアとともに開会前打ち合わせ

当日午後7時：花火のため警備～閉会後の片付け

すっかり日に焼けてしましました。

初めての夏祭り

平成21年10月、都筑区15番目の連合自治会として「柚木荏田南連合自治会」が結成されました。荏田南四丁目・五丁目、荏田南町の三つの自治会から成ります。それに伴い今年度から青少年指導員柚木荏田南地区も発足しました。

連合自治会結成後、初めての行事として8月7日(土)、夏祭りが開催されました。青少年指導員の内野さんの企画で、地域の皆様との交流、会員相互の連帯と親睦を深めることが目的です。

オープニングイベントは青少年指導員主催の子どもみこしです。午後3時30分荏田東郵便局前に子どもたちが集まり、紙の花を作りおみこしに飾り付け手作りみこしの出来上がり。

はっぴを着て午後3時40分祭り会場の折田公園

柚木荏田南地区 田井京子

に向けて出発。「わっしょい！・わっしょい！」と大きな掛け声で、最初は低学年の子が担ぎ、途中高学年の子と何度か交代を繰り返し、ようやく祭り会場に到着。広場を大きく一周した後やぐらの前でおみこしを置き、大粒の汗を流している子どもたちは、ふるまわれた冷たいラムネを美味しいそうに飲んでいました。

各町内会からは模擬店を出し、荏田東第一小が琴と三味線、荏田南中が太鼓、荏田高校が焼きそば、他にも盆踊りやカラオケ大会、マジックショー、輪投げなど子どもたちが活躍するイベントが盛りだくさん。

初めての夏祭りは、幼児から高校生まで多くの子どもたちが盛り上げてくれました。



このマークは、青少年に優しい環境を願ってヨコハマの青少年指導員が決めたものです。